

## 第2章 都道府県における製造業の移り変わり

## 各都道府県における事業所数第1位の産業の変遷

事業所数1位の産業<sup>(注1)</sup>を昭和30年から10年毎にみると、昭和30年は食料・飲料、昭和40年から平成7年までは繊維・衣服、平成17年以降は一般機械となっています。

都道府県別にみると、昭和30年から平成20年までどの年でも変化の無かったのは、北海道、鹿児島県、福岡県など20道県の食料・飲料、京都府、石川県、福井県など7府県の繊維・衣服、新潟県の金属製品となっています。

(注1) 各産業名については、長期時系列における産業分類改訂の制約により、別途産業を統合して略称を用いています。詳細は「長期時系列データ等について」を参照のこと。

### 各県の事業所数1位の産業の変化 (全事業所)

事業所数	昭和30年	昭和40年	昭和50年	昭和60年	平成7年	平成17年	平成20年
全国計	食料・飲料	繊維・衣服			一般		
北海道				食料・飲料			
青森				食料・飲料			
岩手				食料・飲料			
宮城				食料・飲料			
秋田	木材	食料・飲料	木材	食料・飲料			
山形	食料・飲料		繊維・衣服		食料・飲料		
福島	食料・飲料		繊維・衣服		食料・飲料		
茨城				食料・飲料			
栃木				繊維・衣服	一般		
群馬				繊維・衣服	一般		
埼玉	繊維・衣服		一般				
千葉				食料・飲料			
東京	金属			印刷			
神奈川	食料・飲料		金属	一般			
新潟				金属			
富山	食料・飲料		金属				
石川				繊維・衣服			
福井				繊維・衣服			
山梨				繊維・衣服			
長野	食料・飲料					一般	
岐阜	窯業				繊維・衣服		
静岡	繊維・衣服	食料・飲料	繊維・衣服	食料・飲料			一般
愛知				繊維・衣服			
三重				食料・飲料			
滋賀				繊維・衣服			
京都				繊維・衣服			
大阪	繊維・衣服					金属	
兵庫	食料・飲料	繊維・衣服		金属			
奈良				繊維・衣服			
和歌山	食料・飲料				繊維・衣服		食料・飲料
鳥取				食料・飲料			
島根				食料・飲料			
岡山	その他				繊維・衣服		
広島	食料・飲料		繊維・衣服		一般		
山口				食料・飲料			
徳島				食料・飲料			
香川				食料・飲料			
愛媛	食料・飲料		繊維・衣服		食料・飲料		
高知				食料・飲料			
福岡				食料・飲料			
佐賀				食料・飲料		窯業	
長崎				食料・飲料			
熊本				食料・飲料			
大分				食料・飲料			
宮崎				食料・飲料			
鹿児島				食料・飲料			
沖縄 <sup>(注2)</sup>				食料・飲料			

(注2) 沖縄県は昭和48年から調査対象となっています。

各都道府県における従業者数第1位の産業の変遷

従業者数1位の産業をみると、昭和30年から昭和50年までは繊維・衣服、昭和60年以降は電気機械となっています。

都道府県別にみると、昭和30年の食料・飲料は北海道、千葉県、鹿児島県など12道府県だったのが、平成20年には21道県となっています

また、昭和30年の電気機械は茨城県の1県だったのが、昭和60年には神奈川県、埼玉県、長野県など16県、平成20年には9県となっています。

各県の従業者数1位の産業の変化  
(全事業所)

従業者数	昭和30年	昭和40年	昭和50年	昭和60年	平成7年	平成17年	平成20年
全国計	繊維・衣服			電気			
北海道				食料・飲料			
青森				食料・飲料			
岩手	鉄鋼	食料・飲料		電気		食料・飲料	
宮城	食料・飲料			電気		食料・飲料	
秋田	木材			電気			
山形	繊維・衣服			電気			
福島	繊維・衣服			電気			
茨城				電気		一般	
栃木	繊維・衣服			電気		輸送	一般
群馬	繊維・衣服			電気		輸送	
埼玉	繊維・衣服			一般	電気	一般	食料・飲料
千葉	食料・飲料			電気	食料・飲料		
東京	一般			印刷			
神奈川	輸送	電気					一般
新潟	繊維・衣服			電気		食料・飲料	
富山	繊維・衣服			金属			
石川	繊維・衣服			一般			
福井				繊維・衣服			
山梨	繊維・衣服			電気			
長野	繊維・衣服	一般			電気		
岐阜				繊維・衣服		一般	
静岡	繊維・衣服			輸送			
愛知	繊維・衣服			輸送			
三重	繊維・衣服			電気		輸送	
滋賀	繊維・衣服			電気			
京都	食料・飲料	繊維・衣服			電気		一般
大阪	繊維・衣服			一般			
兵庫	繊維・衣服	鉄鋼		一般	電気	食料・飲料	一般
奈良				繊維・衣服		電気	食料・飲料
和歌山				繊維・衣服		食料・飲料	
鳥取	食料・飲料		繊維・衣服		電気		
島根	食料・飲料		繊維・衣服		電気		
岡山				繊維・衣服		輸送	
広島				輸送			
山口	化学			食料・飲料			
徳島	繊維・衣服			食料・飲料			
香川	繊維・衣服			食料・飲料			
愛媛	繊維・衣服			食料・飲料			
高知	食料・飲料			繊維・衣服		食料・飲料	
福岡	鉄鋼	鉄鋼	食料・飲料				
佐賀				食料・飲料		食料・飲料	
長崎	食料・飲料	輸送		食料・飲料			
熊本	食料・飲料			電気		食料・飲料	
大分	非鉄	食料・飲料		電気			
宮崎	化学	食料・飲料					
鹿児島				食料・飲料			
沖縄				食料・飲料			

各都道府県における出荷額第1位の産業の変遷

出荷額1位の産業をみると、昭和30年から昭和50年までは食料・飲料、昭和60年から平成7年までは電気機械、平成17年以降は輸送機械となっています。

都道府県別にみると、昭和30年の電気機械は茨城県の1県だったのが、昭和60年は神奈川県、大阪府、埼玉県など16府県、平成20年には18都県となっています。

また、輸送機械も昭和30年は長崎県の1県だったのが、平成17年は愛知県、静岡県、神奈川県など8県、平成20年には10県となっています。

各県の出荷額1位の産業の変化  
(全事業所)

出荷額	昭和30年	昭和40年	昭和50年	昭和60年	平成7年	平成17年	平成20年
全国計	食料・飲料			電気		輸送	
北海道	食料・飲料						
青森	食料・飲料						
岩手	鉄鋼		食料・飲料			電気	
宮城	食料・飲料						
秋田	木材			電気			
山形	食料・飲料			電気			
福島	食料・飲料		化学			電気	
茨城	電気					一般	
栃木	食料・飲料		電気		輸送		
群馬	繊維・衣服		輸送		電気		
埼玉	繊維・衣服		輸送		電気		
千葉	食料・飲料		鉄鋼		石油		化学
東京	食料・飲料		一般		印刷		電気
神奈川	食料・飲料		輸送		電気		輸送
新潟	繊維・衣服		化学		繊維・衣服		一般
富山	繊維・衣服		化学		非鉄		金属
石川	繊維・衣服		繊維・衣服		一般		電気
福井	繊維・衣服						
山梨	繊維・衣服		電気				
長野	食料・飲料		一般		電気		
岐阜	繊維・衣服				電気		一般
静岡	食料・飲料		輸送				
愛知	繊維・衣服		輸送				
三重	繊維・衣服		化学		輸送		
滋賀	繊維・衣服		電気			一般	
京都	繊維・衣服		電気			食料・飲料	
大阪	繊維・衣服		一般		電気		
兵庫	鉄鋼		食料・飲料		電気		
奈良	繊維・衣服		一般				
和歌山	繊維・衣服		鉄鋼		石油		
鳥取	食料・飲料			電気			
島根	食料・飲料			鉄鋼		電気	
岡山	繊維・衣服		化学		石油		輸送
広島	食料・飲料		輸送				
山口	化学						
徳島	食料・飲料		化学		食料・飲料		
香川	食料・飲料		石油		食料・飲料		石油
愛媛	化学		電気		紙パ		非鉄
高知	食料・飲料		輸送		食料・飲料		電気
福岡	鉄鋼			食料・飲料		輸送	
佐賀	食料・飲料					電気	
長崎	輸送			一般			
熊本	食料・飲料		電気				
大分	非鉄		石油		鉄鋼		
宮崎	化学		食料・飲料				
鹿児島	食料・飲料						
沖縄	石油		食料・飲料			石油	

## 事業所数からみた各都道府県の順位の変遷

都道府県の事業所数の順位を昭和30年から10年毎にみると、大阪府は昭和30年から昭和40年までは3位でしたが、昭和50年から平成17年までは2位と順位を伸ばし、平成20年には1位になっています。

また、昭和30年から平成17年までの1位は東京都でした。

### 都道府県における事業所数の順位の変化 (全事業所)

事業所数	昭和30年	昭和40年	昭和50年	昭和60年	平成7年	平成17年	平成20年
北海道	10	13	17	19	18	17	18
青森	44	41	39	40	40	39	39
岩手	43	40	40	39	35	35	33
宮城	34	34	32	30	25	26	26
秋田	40	39	37	37	34	37	37
山形	32	30	27	27	24	24	23
福島	21	24	23	22	20	20	19
茨城	28	22	19	16	16	14	14
栃木	15	16	15	13	15	15	16
群馬	13	12	11	11	11	11	11
埼玉	12	8	5	4	4	4	4
千葉	22	23	20	17	14	16	15
東京	1	1	1	1	1	1	2
神奈川	19	14	10	9	8	7	7
新潟	9	9	9	10	10	10	10
富山	39	36	33	33	30	27	27
石川	23	18	13	18	19	19	20
福井	27	21	24	23	23	23	24
山梨	17	19	22	24	28	30	29
長野	16	17	14	12	12	12	12
岐阜	11	7	8	8	7	8	8
静岡	4	5	7	5	5	5	5
愛知	2	2	3	3	3	3	3
三重	18	20	21	21	21	21	21
滋賀	36	31	25	25	26	25	25
京都	5	4	4	7	9	9	9
大阪	3	3	2	2	2	2	1
兵庫	6	6	6	6	6	6	6
奈良	30	27	26	26	27	29	30
和歌山	25	25	28	32	33	33	35
鳥取	46	46	46	47	47	47	47
島根	41	43	44	42	44	45	45
岡山	14	15	18	20	22	22	22
広島	8	10	16	15	17	18	17
山口	33	32	34	36	38	38	38
徳島	37	37	38	38	39	40	44
香川	31	33	30	31	31	32	32
愛媛	20	26	31	29	29	31	31
高知	38	42	42	44	45	46	46
福岡	7	11	12	14	13	13	13
佐賀	42	44	45	45	43	41	42
長崎	29	29	36	35	37	34	36
熊本	26	35	35	34	36	36	34
大分	35	38	41	41	42	42	41
宮崎	45	45	43	43	41	43	40
鹿児島	24	28	29	28	32	28	28
沖縄			47	46	46	44	43

(注) 沖縄県は昭和48年から調査対象となっています。

## 従業者数からみた各都道府県の順位の変遷

都道府県の従業者数の順位をみると、愛知県は昭和30年から昭和60年まで3位でしたが、平成7年以降は1位になっています。

また、昭和30年から昭和60年までの1位は東京都でした。

なお、大阪府は昭和30年以降、平成20年まで2位が続いています。

### 都道府県における従業者数の順位の変化 (全事業所)

従業者数	昭和30年	昭和40年	昭和50年	昭和60年	平成7年	平成17年	平成20年
北海道	10	11	12	19	17	18	18
青森	45	43	43	42	37	40	39
岩手	39	38	34	31	28	27	29
宮城	35	29	25	23	23	24	24
秋田	41	39	35	33	31	34	34
山形	33	30	28	25	25	25	25
福島	22	24	21	18	18	19	19
茨城	26	19	16	8	8	8	8
栃木	21	20	17	16	16	13	15
群馬	17	15	18	15	14	12	14
埼玉	11	7	6	5	5	4	4
千葉	24	16	10	9	9	10	10
東京	1	1	1	1	3	6	6
神奈川	5	4	4	4	4	5	5
新潟	12	13	11	13	12	16	17
富山	23	22	23	24	24	23	23
石川	20	21	27	27	26	26	26
福井	25	26	29	30	32	33	33
山梨	37	37	37	35	36	31	31
長野	16	14	15	10	11	11	12
岐阜	13	12	14	14	15	15	13
静岡	6	6	7	7	6	3	3
愛知	3	3	3	3	1	1	1
三重	15	18	20	20	20	17	16
滋賀	28	27	24	22	22	22	21
京都	8	10	13	17	19	20	20
大阪	2	2	2	2	2	2	2
兵庫	4	5	5	6	7	7	7
奈良	40	36	38	36	34	35	36
和歌山	27	28	33	37	41	42	42
鳥取	46	46	45	45	45	45	45
島根	42	44	42	44	44	44	44
岡山	14	17	19	21	21	21	22
広島	9	9	9	11	13	14	11
山口	19	23	22	26	27	29	27
徳島	38	35	39	40	43	43	43
香川	31	31	30	32	35	36	37
愛媛	18	25	26	28	29	30	30
高知	43	45	46	46	46	46	46
福岡	7	8	8	12	10	9	9
佐賀	44	42	41	43	42	38	38
長崎	30	32	32	38	39	39	40
熊本	29	33	31	29	30	28	28
大分	34	41	40	39	38	37	35
宮崎	36	40	44	41	40	41	41
鹿児島	32	34	36	34	33	32	32
沖縄			47	47	47	47	47

## 出荷額からみた各都道府県の順位の変遷

都道府県の出荷額の順位をみると、愛知県は、昭和30年は3位、昭和40年は4位、昭和50年は3位でしたが、昭和60年以降は1位が続いています。

また、昭和30年と昭和40年の1位は東京都、昭和50年の1位は大阪府でした。

なお、神奈川県は、昭和30年は5位、昭和40年は3位でしたが、昭和50年以降は2位が続いています。

### 都道府県における出荷額の順位の変化 (全事業所)

出荷額	昭和30年	昭和40年	昭和50年	昭和60年	平成7年	平成17年	平成20年
北海道	8	10	13	16	19	20	21
青森	43	43	42	43	43	43	41
岩手	30	37	36	37	34	33	34
宮城	33	28	27	26	24	26	27
秋田	36	34	39	40	38	41	42
山形	37	36	35	32	28	28	29
福島	25	25	26	23	21	19	20
茨城	26	18	12	9	9	8	8
栃木	24	23	17	14	10	11	12
群馬	23	19	20	13	11	14	15
埼玉	13	7	8	6	6	5	7
千葉	19	11	6	8	8	7	6
東京	1	1	4	4	4	9	10
神奈川	5	3	2	2	2	2	2
新潟	16	17	18	22	22	23	23
富山	20	24	25	25	25	25	26
石川	27	27	30	34	31	31	31
福井	31	30	33	35	36	36	36
山梨	41	41	40	33	32	32	33
長野	21	21	21	17	16	17	18
岐阜	15	16	19	20	20	21	19
静岡	7	6	7	7	5	3	3
愛知	3	4	3	1	1	1	1
三重	11	14	14	15	14	10	9
滋賀	28	26	24	21	17	16	16
京都	10	12	16	18	18	22	22
大阪	2	2	1	3	3	4	4
兵庫	4	5	5	5	7	6	5
奈良	39	35	31	30	30	34	35
和歌山	17	20	22	27	35	29	28
鳥取	46	46	46	45	44	44	45
島根	42	44	47	44	45	45	44
岡山	14	15	11	11	15	15	13
広島	9	9	9	10	13	12	11
山口	12	13	15	19	23	18	17
徳島	40	38	38	39	41	38	40
香川	32	29	28	29	33	35	30
愛媛	18	22	23	24	26	27	25
高知	45	45	45	47	46	46	47
福岡	6	8	10	12	12	13	14
佐賀	44	42	41	41	40	39	38
長崎	35	31	32	38	39	40	39
熊本	29	33	34	31	29	30	32
大分	22	32	29	28	27	24	24
宮崎	34	39	43	42	42	42	43
鹿児島	38	40	37	36	37	37	37
沖縄			44	46	47	47	46

工業用水使用量からみた各都道府県順位の変遷

－ 使用量1位は千葉県の化学工業 －

工業用水の1日当たりの使用量を都道府県別に昭和40年から10年毎にみると、昭和50年以降、千葉県が1位となっており、その使用量を産業別に構成比でみると化学工業が4割超を占めており、最も高くなっています。

また、昭和40年の1位は福岡県の鉄鋼業、昭和40年と平成20年の2位は山口県の化学工業、昭和50年から平成17年の2位は愛知県の鉄鋼業となっています。

工業用水の1日当たり使用量の都道府県別の順位とその構成比が最も高い産業  
(従業者30人以上の事業所)

	昭和40年	昭和50年	昭和60年	平成7年	平成17年	平成20年
1位	福岡 鉄鋼 57.1 %	千葉 化学 46.4 %	千葉 化学 42.9 %	千葉 化学 46.1 %	千葉 化学 46.9 %	千葉 化学 44.6 %
2位	山口 化学 65.7 %	愛知 鉄鋼 29.9 %	愛知 鉄鋼 32.0 %	愛知 鉄鋼 36.1 %	愛知 鉄鋼 41.3 %	山口 化学 72.8 %
3位	神奈川 化学 35.2 %	山口 化学 63.1 %	神奈川 鉄鋼 29.2 %	山口 化学 70.5 %	山口 化学 72.7 %	愛知 鉄鋼 41.9 %
4位	北海道 紙パ 47.4 %	兵庫 鉄鋼 68.9 %	兵庫 鉄鋼 69.2 %	神奈川 化学 30.0 %	兵庫 鉄鋼 72.9 %	岡山 化学 51.4 %
5位	兵庫 鉄鋼 58.1 %	神奈川 化学 35.2 %	山口 化学 66.4 %	兵庫 鉄鋼 68.4 %	岡山 化学 50.1 %	神奈川 化学 40.8 %
6位	愛知 鉄鋼 25.7 %	福岡 鉄鋼 46.6 %	岡山 化学 51.5 %	岡山 化学 48.4 %	神奈川 化学 38.2 %	兵庫 鉄鋼 71.3 %
7位	大阪 鉄鋼 34.5 %	大阪 化学 46.9 %	大阪 化学 43.5 %	茨城 化学 40.9 %	茨城 鉄鋼 43.4 %	茨城 鉄鋼 45.4 %
8位	静岡 紙パ 67.2 %	広島 鉄鋼 60.0 %	茨城 鉄鋼 48.7 %	大阪 化学 46.4 %	北海道 紙パ 49.8 %	北海道 紙パ 48.3 %
9位	千葉 鉄鋼 54.0 %	岡山 化学 38.5 %	福岡 鉄鋼 51.7 %	北海道 紙パ 55.4 %	広島 鉄鋼 67.2 %	広島 鉄鋼 67.0 %
10位	東京 化学 25.7 %	茨城 化学 40.0 %	北海道 紙パ 57.4 %	広島 鉄鋼 66.9 %	大分 鉄鋼 43.3 %	大分 鉄鋼 42.2 %

(注) 各産業名については、長期時系列における産業分類改訂の制約により、別途産業を統合して略称を用いています。詳細は「長期時系列データ等について」を参照のこと。